令和７年度　小学生「赤ちゃんとのふれあい体験」　実施報告書

知多市児童センター

１．事業目的

本事業は、小学校６年生を対象に、赤ちゃんとのふれあいを通じて、命の尊さや家族の思いに気づくきっかけを作ることを目的としています。

赤ちゃんの成長過程や親との関わり、子育ての大変さと喜びを実感することで、「大切に育まれてきた命」について改めて考える機会となります。そして、そこから親や家族、自分の周りの人々の思いに目を向け、すべての命の大切さについて考える機会とします。

なお、国は児童・生徒による乳幼児とのふれあい体験を児童館の事業と位置付けており、知多市においても『知多市子ども計画』（令和７年度～令和１１年度）の中で、本事業を主要事業として位置付けています。

小学生	・親子とのふれあいを通じて、赤ちゃんの愛らしさや温かさ、子育ての喜びや大変さを感じるとともに、親への感謝や家族との絆、命の大切さに気づく機会とします。 ・思いやりの心を育み、これまで親から受けてきた愛情について振り返るきっかけを作ります。
保護者	・赤ちゃんと小学生が関わる様子を見ることで、わが子への愛情を再確認し、子どもの成長や将来の姿を思い描くきっかけになります。 ・事業への参加を通じて、「親になる次世代を支える」という社会参加・社会貢献の意識が芽生え、保護者自身の子育てへの評価や自己肯定感が高まります。

２．実施校・開催日等

実施校	開催日	クラス	親子人数 （親子組数・乳幼児数）
佐布里小学校	５／２１（水）　２２（木）　２３（金）	３	２６組３６人
新知小学校	６／４（水）　５（木）　６（金）	３	２９組３５人
新田小学校	６／１０（火）　１１（水）　１２（木）	３	３６組４６人
旭東小学校	６／１８（水）	１	８組１２人
つつじが丘小学校	７／４（金）	１	１２組１７人
旭北小学校	７／１５（火）　１６（水）　１７（木）	３	３３組４７人
八幡小学校	９／９（火）　１０（水）　１１（木）　１２（金）	４	４７組６３人
南粕谷小学校	９／１８（木）	１	１１組１５人
岡田小学校	９／２４（水）　２５（木）　２６（金）	３	２６組３８人
旭南小学校	１０／２３（木）　２４（金）	２	２４組３４人

３．内　容

（１）事前学習

・体験の目的や、ふれあい時の注意事項、赤ちゃんの発達について、過去のふれあい体験の映像を見ながら学習する。

（２）ふれあい体験

・親子と小学生のペアをつくり、入室後自己紹介をする。

・ペアの赤ちゃんと一緒に遊ぶ（自由遊び）。

・考えた質問を遊んでいる時間にする。

・手遊び、大布遊びなどで一緒に遊ぶ（ふれあい遊び）。

（３）感想記入（保護者）

・保護者が感想を記入している間、小学生が赤ちゃんと遊ぶ（リズム遊び）。

（４）小学生の挨拶

・小学生と担任教諭が感想やお礼の気持ちを伝える。

（５）保護者からのメッセージ（児童センター）

・保護者から児童へのメッセージをまとめ、後日学校に届ける。

４．児童の感想（抜粋）

・本当に小さくて、自分も昔はこうだったんだなとびっくりした。

・自分も小さいとき、親や周りの人を困らせていたこともあったと思うので、これからは親や周りの人が困っていたら手助けできるといいなと思った。

・赤ちゃんと遊んでみて、すぐに泣いちゃったり、いろんなものを口に入れたりがたくさんあって困ることもあるけど、楽しいこともある貴重な体験だったと思います。

・人見知りしてたり、眠くなったり、おなか空いてたりで泣いちゃいそうになった時が多かったけど、笑ってくれることがうれしくて、かわいかったです。

・私が思っていたよりも赤ちゃんは繊細で、今日の子は物を口に入れるのが好きで、どんどん口に入れていったり、眠くなってぐずっちゃったり、いろんなことがあるけど、赤ちゃんと触れてみてやっぱりお母さんってすごいんだなと感心しました。私はあまり赤ちゃんと関わる機会が少ないから、今日こんな貴重な体験ができて、すごく楽しかったです。また機会があったら、赤ちゃんと触れ合ったり、遊んだりしたいです。

・やる前は年下のことが嫌いで、「やりたくないな」や「服汚れるの嫌だな」と思ったりしていたけど、実際にふれあってみたら、めちゃくちゃかわいくて意外におとなしく、手も足も人形みたいにちっちゃくて、楽しかったです。

・赤ちゃんを育てている大人の人の赤ちゃんを育てる大変さということを初めて知り、僕は赤ちゃんを育てている大人の人は一生懸命に子育てをしているんだなとすごく関心を持ちました。

・かわいくて、自分がこのように育てられていることに気づいて嬉しくて、改めて親にありがとうの気持ちを伝えたいです。

・この体験をして私は末っ子だし、周りに小さい赤ちゃんが全くいなくてふれあったことがなかったけど、教えてもらったとおりにやってみたり、たくさんふれあって仲を深められたので、赤ちゃんの良さ、子育ての難しさ、大変さがとてもよくわかりました。

・最初はあまり赤ちゃん体験に興味を持てなかったけど、赤ちゃんを見てからすごいかわいくて、こんなに興味がわいてきて、いろいろと知れて、すごいあっという間で、いい体験ができてうれしかった。

・最初は機嫌が悪かったり、おなか空いた時、泣いてしまうから不安だったけど、赤ちゃんのお母さんがこうすると喜ぶよと教えてくれて不安がなくなり楽しかったです。赤ちゃんがこんなに大変だと考えると、自分もこんな時があって、お母さんも大変だったんだなと思いました。でもみんな元気で泣いている子もいたり、笑ってる子もいたりして、楽しそうだなと感じました。

・赤ちゃんはマイペースなので、あまり楽しめなかったです。赤ちゃんが僕の渡したものを持ってきてくれた時はうれしかったです。赤ちゃんといると楽しいこともあるけど、たくさん大変なこともあるということがわかりました。

・私は赤ちゃんのことを前は苦手でした。けど赤ちゃんふれあい体験をして赤ちゃんをかわいいと思えたし、少しだけ好きになれました。

５．保護者の感想（抜粋）

・最初から最後までとてもかわいがってくれて、子どもたちはとてもうれしそうでした。大きくなったら、お兄さん、お姉さんのように優しくなれるのかな・・・と将来が楽しみです。

・親にとっても、小学生にとっても、ほっこりする時間でとてもいいなと思います。赤ちゃんとふれあう機会がない子も多いと思うので、学校で全員が体験できるのはとてもいいと思います。

・小学生の子とふれあう体験はなかなかないので、私も子も嬉しかったです。お兄ちゃん、お姉ちゃんが大好きなので、こういう体験はいいなと思いました。

・目線を合わせてくれたり、さりげなく遊びが成立するようにフォローしてくれたり、さすがお姉さんたちだなと思いました。

・事前に学習をしてきて、楽しませようとしてくれている姿を見て、１１年後にはこんなふうになっているのかなと思いました、とても楽しそうに嬉しそうにしていたので、参加してよかったなと思いました。

・久々の参加で緊張していたけど、お兄さんたちが来ると嬉しそうに遊んでいて、「おいで！」と呼んだり、できないことを頼んだりして、楽しんでいました。お兄さんたちがとっても優しくて、温かくて、こんなふうに成長してほしいなと思いました。ペアの子以外の子も声をかけてくれる温かいクラスだなとほっこりしました。

・月齢が低いと小学生にとって一緒に遊びづらく、つまらないかと思っていましたが、事前に名前だけでなく月齢を知って来てくれたので、まだなにもできないことを理解してくれていて助かりました。優しく抱いてくれて、子どもも喜んでいました。

・何回か参加して、いろいろなタイプの小学生がいて、毎回どんな子と遊んでもらえるか楽しみです。この機会をとおして、少しでも赤ちゃんに興味を持ってもらえるといいなと思いました。

・自分が通っていた小学校へ久しぶりに来ることができてよかったです。自分にもこんな頃があったと、思い返すきっかけがお互いに持てた気がしています。

・参加の度、６年生の温かさを感じることができます。遊び終わるとグズグズでテンション下がり気味の息子ですが、優しく見守り、関わってくれることが本当に嬉しいです。こんなふうに育ってほしいな～と思えるひとときです。

・男の子３人組にお世話になりました。動き回る子どもをずっと追いかけて遊んでくれました。途中「目が離せないね」「追いかけるだけで疲れちゃうね」と子どもの生態を理解してくれてすごいなと感じました。それでも「ぼくが追いかける！」と追いかけてくれたり、「だっこしたい！」と声をかけてくれたり、積極的に関わってくれてうれしかったです。

・１．２歳の時のことを少し覚えていることや、どんな遊びをしていたかなと、小学生にたくさん教えてもらえ、小さい頃の思い出も大切にしていきたいと思いました。

・小学生の子たちと関わることはあまりないので、よい機会となりました。改めて質問されると、育児を振り返ることができてよかったです。

６．まとめ

令和７年度は、小学校１０校の６年生全２４クラスで、ふれあい体験を実施しました。

アンケート結果（別紙１）では、赤ちゃんとのふれあい体験を「楽しみ」と回答した児童は体験前７８．９％でしたが、体験後には「楽しかった」と回答した児童が９３．５％に増加しました。また、「どちらともいえない」と回答していた児童は体験前１７．４％から体験後７．８％へと減少しており、乳幼児とのふれあいや保護者の話を聞く機会を通して、より多くの児童が「楽しかった」と感じられたのではないかと考えられます。一方で、「楽しくなかった」と回答した児童も少数ながらおり、乳幼児の人見知りや体調などにより、思うように関われなかったケースもあったのではないかと思います。今後のスタッフのサポート体制について、改善の余地があると感じています。

会場では「かわいい」「楽しい」との声が多く聞かれました。体験終了後もペアの乳幼児と離れ難く、名残惜しそうに教室へ戻る児童の姿も見られました。実際に乳幼児と関わり、参加保護者から子育ての話を聞く中で、「自分もこのように大切に育てられたのかな」と親への感謝を再認識したと感想に記載した児童も多くいました。

ふれあい体験を通して、児童が赤ちゃんの愛らしさを実感し、自然と笑顔になり、小さな命を思いやる姿が見られました。こうした姿から本事業の趣旨が児童にしっかりと伝わったことを感じています。

開催にあたっては、荷物の搬入や会場の確保など、学校の皆さまに多大なご協力をいただき、円滑に実施することができました。また、パワーポイント視聴やアンケートのＱＲコードの読み込みでは、学校共有のＧｏｏｇｌｅドライブを活用させていただき、効率的な運営につながりました。協同で進める本事業において、学校との連携が大きな力となりました。

今後もいただいたご意見を生かしながら、より良いふれあい体験事業をともに作り上げていきたいと考えています。